

# 青森北進路通信

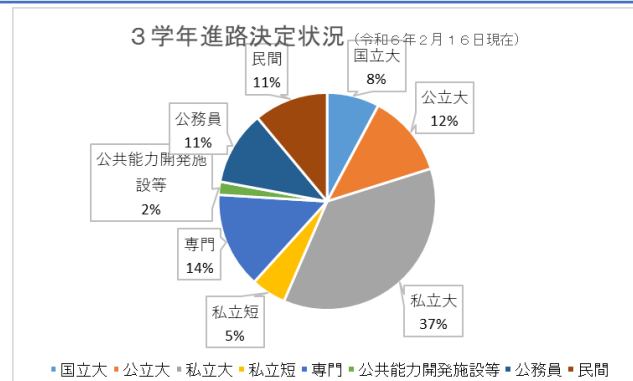
発行日：2024年2月28日（水）

発行元：青森北高校進路指導部

## 第6号

### 3学年 進路決定状況

2月16日現在の進路決定率は全体の84.6%で、国公立大学進学者31名、私立大学進学者56名、専門学校、短期大学等への進学者33名、公務員17名、民間就職17名となっています。一方、一般選抜試験の試験日は、2月から3月にかけて設定されており、現在挑戦している人たちからも、続々と合格の報告が届いています。健闘を祈ります。



### 1、2学年 ～進路志望調査結果概要～

1学年

区分	今回		前回	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	43人	(21.8%)	55人	(27.8%)
公立大	43人	(21.8%)	40人	(20.2%)
私立大	43人	(21.8%)	45人	(22.7%)
国公立短大	0人	(0.0%)	1人	(0.5%)
私立短大	6人	(3.0%)	4人	(2.0%)
専修学校等	15人	(7.6%)	15人	(7.6%)
就職	45人	(22.8%)	37人	(18.7%)
未定	2人	(1.0%)	1人	(0.5%)
合計	197人		198人	

2学年

区分	今回		前回	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	20人	(10.3%)	31人	(15.9%)
公立大	30人	(15.4%)	30人	(15.4%)
私立大	49人	(25.1%)	51人	(26.2%)
国公立短大	0人	(0.0%)	0人	(0.0%)
私立短大	8人	(4.1%)	7人	(3.6%)
専修学校等	30人	(15.4%)	28人	(14.4%)
就職	53人	(27.2%)	46人	(23.6%)
未定	5人	(2.6%)	2人	(1.0%)
合計	195人		195人	

上記の結果は、いずれも5月～6月にかけて実施された、第一回の進路志望調査との比較です。1年生では国公立大学を目指す人が86人、今後も目標を高く持ち努力していきましょう。2年生は国立大学志望者が減少し、その分就職希望者が増えている形です。実際に現在41名が公務員対策講座を受講しており、その数は過去最多です。進路について、いよいよ具体的に動き出す時期にきています。周囲に流されずしっかりと自己分析や志望先研究を行うとともに、経済的な面でどんな選択が可能なのか、保護者ともよく話し合っておく必要があります。

### やっぱり心配 ～お金の話～

進学費用について、保護者と話し合ったことはありますか？よく聞く「奨学金を借りる」とは「自分が将来払う」ということです。保護者任せにせず、この機会によく調べておきましょう。



#### 1 いくらかかるのか

学費には、入学時に納める入学金と、年ごとにかかる授業料や諸費用があります。国立大学は一部を除いて全国一律ですが、公立大学は地域内と地域外で異なりますし、私立大学は学校・学部ごとに異なりますので調べてみましょう（※蛍雪時代11月号に学費早見表が掲載されています）。学費の他に、住居費や食費などの生活のための費用も考えておかなければなりません。進学先に寮はあるか、特待生などの制度が利用できないか、入学後の減免制度はあるかなど、細かな点は、HPだけでなく、オープンキャンパスや進学相談会などに足を運んで情報収集しましょう。

●国公立大	●青森公立大		●私立大（参考：平均値）						
	昼間部	夜間部	東青地区管内	県内	県外	文系	理系		
入学金	282,000	141,000	入学金	156,600	219,200	313,200	入学金	225,651	251,029
授業料	535,000	267,900	授業料	535,800	535,800	535,800	授業料	815,069	1,136,074
							施設設備費	148,271	179,159

#### 2 いつ払うのか

総合型、学校推薦型選抜が増加するにつれ、合格発表後の納付期限も早期化しています。つまり、そのような選抜方法で合格した場合は、10月～12月に入学金（+前期授業料等の場合もあります）として、ある程度まとまったお金を払うことになるということで、これは専門学校等も同様です。奨学金を利用する予定の人も多いと思いますが、このような場合の支払いには時期的に間に合わないため、注意が必要です。

#### 3 奨学金や教育ローンについて

日本学生支援機構の奨学金は、高校3年次の4月下旬から予約採用の募集が始まります。他に、給付型奨学金（高等教育の修学支援新制度）や県の奨学金などもあり、さらにひとり親、多子世帯、低所得世帯には優遇利息で利用できるローンや、福祉分野の貸し付け制度などもあるそうです。詳しい内容や賢い利用方法について、来年度4月30日に「株式会社まなびシード」から講師を招いて奨学金セミナーを開催する予定ですので、ぜひご利用ください。保護者と生徒本人と一緒に参加できるように計画しています。（申し込み等詳細については3月に改めてご案内します）

# 合格者体験報告会（1、2学年）が行われました

1月31日（水）に、学校推薦型・総合型選抜で進路が決定している3年生による、合格者体験報告会が行われました。8つの分野に分かれて、どのような準備や対策を行って試験に臨んだか、本番の試験はどのようなものであったかなどについて詳しく話を聞き、指導に携わった先生方からは、講評やアドバイスをいただきました。どの分野でも共通していたのは「早く進路を決め、早く動き出すこと」「授業への取り組みや課題の提出、生活態度をきちんとしておくこと」「課外活動やスキルアッププログラムなど、アピールできるものを増やしておくこと」「情報収集を丁寧に行い、人任せにしないこと」の大切さです。今回受けた刺激をこの後の進路研究と対策に結びつけていきましょう。



## 合格者体験報告会のレポートから

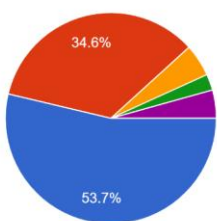
- ・総合型選抜では、自己PRのために勉強以外で頑張ることが多いと思いました。特に講義を聞いて討論するには、普段から周りの人との話し合いが大事だと思いました。面接とか読み聞かせの実演とかを実際見て、すごく練習したんだなと感じました。（保育・栄養分野）
- ・私が感じたのは、すべて自分次第なんだということです。対策も長期になるので、長い間努力し続けることが大切だと思いました。この報告会を聞くまで、大変でつらいことしかないんだろうなと思ってたけど、先輩方から、そのおかげで身に付いた知識や力があると聞いて、受験は辛いことだけじゃないし、その後につながる力をつける機会でもあるんだと思って、日頃の生活態度や勉強にむかう態度を見つめなおして、前向きに頑張っていきたいと思いました。（看護分野）
- ・進路決定には早くからの準備が大切で、進路決定が遅いと、小論文、面接などの対策に影響が出てしまい、リスクが高くなってしまふということがわかった。先輩の面接の実演を見て、自分の志望先の試験の雰囲気や少しわかり、とても良い刺激になった。総合型、学校推薦型は、思った以上に受験する日が早いので、新聞を読んだり課外活動に参加してスキルアップの単位を申請したりして、時間を有効に使わなければいけないし、本当に時間がないと思った。（医療分野）
- ・今回話を聞き実際の面接を見て、本当に厳しい世界だなと思った。小論文は、ニュースや新聞を読んでいたけど、その内容の研究をしている人にしか書けないような問題だった。面接では、深く研究していなければ答えられないような質問や、少し意地悪な内容が多く、面接官がその人の意欲や関心などを見ていることがよくわかった。複数の大学の話を聞くことができて、今まで考えていなかった大学にも興味を持った。他の大学のことも調べることでそれぞれ大学の良さや特徴が浮き彫りになり、より大学の選択肢が増えるなと思った。（人文分野）
- ・先輩方や先生の話聞いて、今一度自分をしっかり見つめ直すことが大事だと思いました。私が目指す職種は決まっていますが、今面接をしたら何もしゃべれないと思います。進学の人達と比べて試験が早いので、今までのように「他の人がやっているから自分もやる」という考えではなく、これからは自分のことは自分でやっていかなくてはいけない、本当に真剣に学校生活を送らなくてはならないということがわかりました。（就職・公務員分野）

### 進路について情報収集しよう！

- ◆HPをチェックする
- ◆オープンキャンパスや公開講座に行く
- ◆進学相談会や説明会に行く
- ◆「進路の手引」や「蛍雪時代」などの資料を見る
- ◆3階の小ホールに行ってみる  
(学校案内のパンフレットや求人票、各学校の過去問や赤本が閲覧可)



今日の講座を聞いて気持ちの変化はありましたか  
162件の回答



- 進路に向けて、頑張りたい気持ちが強くなった
- 進路や試験内容について、よく調べてみようと思った
- 進路について、考え直そうと思った
- 進路について、不安な気持ちが大きくなった
- 特に変化はなかった

2学年アンケート結果

アンケート結果では「進路に向けてがんばりたい気持ちが強くなった」「よく調べてみようと思った」の合計が、1学年では91.1%、2学年では88.3%。自分の現状についての質問「自分がどのくらい取り組んでいるか」に対しては、「現在の努力で第一志望に届く」と答えた人は、1学年で6.5%、2学年では9.3%のみ。まだ目標が定まっていない人は、1学年で42.3%、2学年でも21.6%います。とにかく興味あることから調べ始めたり、今の考えに固執せず、視野を広げて色々な体験活動や講座に参加してみてもどうでしょうか。

## 卒業生の活躍 ～好きなことを仕事に～

### 本校のスローガン

新時代 北高 is shining  
一人一人が輝くために

今回は、平成31年度(令和元年度)卒業生で、青森県警察本部警備課に勤務している柳井伶太(やないりょうた)さんを紹介し、現在は警備課に勤務しながら、青森県警察音楽隊でも活躍中。高校からチューバ(楽器)を始め、努力して東北大会出場も果たした柳井さん。顧問の盛先生によると、在学中から音楽隊に入ることを目標に、授業、部活動、公務員講座の三つを両立させようと努力していて、かなり大変そうだったということですが、見事に夢を叶えました。



令和5年12月6日三沢市立上久保小学校音楽鑑賞教室での写真(正面左側が柳井さん)

### ①現在の職場について

週に3日間は警察本部でデスクワーク。日々何かしらの提出期限に追われています。週に2日間は警察学校で音楽隊員として楽器の訓練。合奏や基礎練習はもちろんありますが、基本的に自分のペースで過ごせるので私にとっては天国です。週末には県内の学校や商業施設等で一般の人向けに演奏もしています。

### ②高校時代ががんばったこと、やっておけばよかったこと

勉強はほどほどでしたが、公務員対策と部活はがんばっていました。やっておけば良かったのは運動です。音楽隊ではドリル演奏(楽器を持って歩きながら演奏する)もやるので体力が必要です。警察学校ではほぼ毎日ランニングをしましたが、もともと運動が得意でも好きでもなかったので大変な1年を過ごしました。

### ③後輩へのメッセージ

何でもうまく気分転換しながら、無理しすぎずに頑張ってください。自分だけがこんな目に遭っているのかと思うような大変な時も、世の中には同じような境遇の人はいると思って、音楽でも聴きながらやっていたらなんとかなります(私のおすすめはスピッツです)。